

地方小委員会の概要と意見

北海道地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月23日（月）10:30～11:15

□場所

札幌第1合同庁舎 2階講堂

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
ありむら みきはる 有村 幹治	室蘭工業大学大学院 教授	○
おかだ みやこ 岡田 美弥子	北海道大学大学院 教授	
かとう まなみ 加藤 真奈美	北海道防災教育アドバイザー	○
かとう ゆきこ 加藤 由紀子	前北海商科大学 教授	○
【委員長】 きし くにひろ 岸 邦宏	北海道大学大学院 教授	○
くぼ としゆき 久保 俊幸	北海道商工会議所連合会 副会頭	○
しまもと かずあき 島本 和明	日本医療大学 総長	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道40号（北海道縦貫自動車道）中川天塩道路

□議事概要（各委員からの意見）

- 医療の観点からすると、医療過疎で大変な地域であり、冬の地吹雪対策も含め、できるだけ早く進めていただきたい。
- 道北の人でも大変期待をしており、日本の食料基地として物流に大きなウエイトがあると思いますので、ぜひともよろしく願いたい。
- 道北の若い酪農家の方から、酪農を観光の切り口でもっと広めていきたいと聞いており、ネットワークの進展が北海道の観光を支えていくと考えておりますので、早期完成が必要。
- 特に冬期は移動手段として非常に便利であることから、あらゆる天候にも対応し、地元住民の方が有効活用できるような道路にしてもらいたい。
- 事業費が変動した場合も想定し、感度分析を実施していることで了解した。
- 私の研究で稚内市民を対象とした調査において、医療、商業施設が充実している名寄市まで早く行ければ、稚内市に住み続けても良いとの結果がでており、それだけの価値がある道路であると認識している。
- 高次医療施設への搬送、農水産物の輸送に与える時間短縮のメリットを定性的な表現であったとしても効果として含めると良い。

□結論

一般国道40号（北海道縦貫自動車道）中川天塩道路
の新規事業化については妥当である。

東北地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月24日（火）13:30～14:30

□場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 12階 大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いおか かよこ 井岡 佳代子	東北学院大学 経営学部 経営学科 准教授	○
おがさわら たかふみ 小笠原 孝史	一般社団法人 東北経済連合会 専務理事	
かさい まこと 葛西 誠	秋田工業高等専門学校 土木・建築系 空間デザインコース 教授	○
かとう ちひろ 加藤 千尋	弘前大学 農学生命科学部 地域環境工学科 准教授	○
【委員長】 まぐち あきら 菊池 輝	東北工業大学 工学部 都市工学課程 教授	○
みやはら いく 宮原 育子	宮城学院女子大学・宮城大学 名誉教授	
むらかみ ききこ 村上 早紀子	福島大学 経済経営学類 経営学コース 准教授	
よしだ あきら 吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授	
わかな ちほ 若菜 千穂	NPO法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事	

□対象事業

- 一般国道4号 白石南拡幅
- 一般国道4号 古川高清水拡幅

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道4号 白石南拡幅】

- スマートインターチェンジをはじめ、計画されている工業団地や沿道からの出入り交通により、本線交通の円滑な流れが阻害されることのないよう、十分な検討を行っていただきたい。
- 当該道路は、安全性や救急搬送などの観点でも重要な道路である。

【一般国道4号 古川高清水拡幅】

- 大崎市や周辺市町村では自動車部品製造工場等の工場が集積しており、当該道路は非常に重要な物流道路であることから、4車線拡幅の必要性がある。
- 物流の円滑化は人の流れの活性化にもつながることから、当該道路は地域にとって極めて重要な道路である。

【多様な効果の評価】

- 東北自動車道が通行止めとなった場合、国道4号では著しい渋滞が発生する。一方で、こうした突発的な事象については、3便益や走行時間信頼性便益のみでは評価が困難であることから、多様な効果の評価検討をお願いしたい。
- 便益の算出にあたっては、多様な効果の評価に取り組んでいるところであるが、冬期の影響など東北地域特有の条件も考慮する必要がある。このため、こうした視点について東北から発信していくことが大事である。

□結論

- 一般国道4号 白石南拡幅
- 一般国道4号 古川高清水拡幅

の新規事業化については妥当である。

中部地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月19日（木）10:00～11:30

□場所

中部地方整備局 3階共用大会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
おぐら かつゆき 小倉 克幸	(一社) 中部経済連合会 常務	○
かとう よしと 加藤 義人	岐阜大学工学部 客員教授	○
【委員長】 くらうち ぶんたか 倉内 文孝	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授	○
さとう くみ 佐藤 久美	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授	○
すすき こうじ 鈴木 弘司	名古屋工業大学社会工学教育類環境都市分野 教授	
なかむら かずき 中村 一樹	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授	○
まつお なおこ 松尾 奈緒子	三重大学大学院生物資源学研究所 准教授	○
みちばやし かつよし 道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究所 教授	
やまだ えり 山田 恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授	

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道21号 宮浦拡幅

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道21号 宮浦拡幅】

- 国道21号の交通容量の確保により、交通渋滞が緩和され、交通の円滑化や市街地の交通環境の改善が期待できる。
- 美濃加茂市や可児市は産業が盛んな地域であり、地域のためにも事業化が期待されている。
- 整備の必要性は十分理解したが、事業実施にあたり交差点の交通渋滞や拠点間の所要時間など、対外的に理解を得られやすい整備効果の見せ方を検討すべき。
- 今後も建設資材価格や労務単価の上昇が考えられるため、事業費への影響を注視する必要がある。

□結論

一般国道21号 宮浦拡幅の新規事業化については妥当である。

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月18日（水）10:00～12:00

□場所

近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1階 共用会議室1

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 名誉教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院 工学研究科 教授	○
おがわ けいいち 小川 圭一	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授	○
かたの いずみ 片野 泉	奈良女子大学 研究院自然科学系 教授	
かな こういち 嘉名 光市	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授	
きむら れお 木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	○
こにし はなこ 小西 華子	竹林・畑・中川・福島法律事務所 弁護士	
【委員長】 こばやし きよし 小林 潔司	京都大学 名誉教授 京都大学経営管理大学院 特任教授	○
ただ のりこ 多田 稔子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事・会長	
まきむら ひさこ 槇村 久子	京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員	○

□対象事業

- 一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）】

- 彦根東近江バイパス（I期）の整備により、交通転換による交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待され、円滑で安全な道路ネットワークの構築に役立つとともに、防災面、地域の産業活動の活性化等にも役に立つ道路である。
- 長浜バイパス、米原バイパス、彦根東近江バイパスの連続利用が見込まれることから、交通利用に関するネットワークの連続性の観点から、一体評価区間の設定については妥当である。
- 彦根東近江バイパス（I期）については、米原バイパスからの延伸となる北側が渋滞などの現道課題が多いため、起点～犬上川までを先行して事業化することは妥当である。
- リスク分析に関しては、本事業のように事前に調査をすることは、品確法改正時に定められた理念にも合致するものであり、事前に調査し、あらかじめリスクを評価しておくことが重要である。
- 彦根東近江バイパス（I期）のトンネル区間において、重金属が確認された場合、滋賀県の環境部局と連携し、適切に対応すること。

□結論

一般国道8号 彦根東近江バイパス（I期）
の新規事業化については妥当である。

中国地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月24日（火）10:30～11:50

□場所

広島合同庁舎2号館 6階 共用7号会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
【委員長】 わたなべ かずなり 渡邊 一成	福山市立大学 都市経営学部 教授	○
さかもと きょうこ 坂本 京子	日本防災士会 山口支部 女性部長	○
しみず きよこ 清水 希容子	島根大学 材料エネルギー学部 材料エネルギー学科 教授	○
たにぐち まさひこ 谷口 雅彦	中国経済連合会 専務理事	
たにもと けいし 谷本 圭志	鳥取大学 工学部 教授	○
なごし あけみ 名越 あけみ	倉吉商工会議所 女性会	○
はしもと せいじ 橋本 成仁	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 教授	
ふくだ ゆみこ 福田 由美子	広島工業大学 工学部 建築工学科 教授	○

□対象事業

- 一般国道2号 福山道路（^{ふくやま}笠岡西～^{ながわ}長和）

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道2号 福山道路（^{ふくやま}笠岡西～^{ながわ}長和）

- 交通の円滑化、ダブルネットワークの確保、渋滞の緩和、街づくりなどの観点からも、当事業が必要であることは理解。
- 事業を進めるにあたっては、市街地を通ることから、市民の理解を得ることが必要。
- 事業費は大きいですが、効果も非常に大きい事業。是非、早く効果が出るよう整備を進めて欲しい。
- この事業は3便益以外でも効果が大きいと思われる。3便益以外の便益も費用対効果に入れられるような仕組みづくりが必要。

□結論

一般国道2号 福山道路（^{ふくやま}笠岡西～^{ながわ}長和）

の新規事業化については妥当である。

四国地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和8年3月23日（月）15:30～16:30

□場所

高松サポート合同庁舎 北館13階 災害対策室（WEB併用）

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
あさかわ かつみ 浅川 克巳	四国経済連合会 専務理事	○
かない じゅんこ 金井 純子	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 講師	
くらうち しんや 倉内 慎也	愛媛大学大学院理工学研究科理工学専攻環境建設工学 准教授	○
こんどう あきこ 近藤 明子	四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授	○
にしうち ひろあき 西内 裕晶	高知工科大学システム工学群 教授	○
の のむら あつこ 野々村 敦子	香川大学創造工学部空間情報工学 教授	
はたけなか ともこ 畠中 智子	高知のまちづくりを考える会 代表	○
はとり つよし 羽鳥 剛史	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 教授	
【委員長】 やまなか ひでお 山中 英生	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 研究部長	○

□対象事業

- 一般国道55号 牟岐海部道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道55号 牟岐海部道路】

- 道路ネットワークはつながってこそ、効果が発揮される。また、政策目標である「南海トラフ地震への備え」を達成するためにも、1日でも早い開通に期待している。
- 徳島東南部から大阪への効果も期待されるが、高知から大阪への効果も十分に期待される非常に重要な道路。
- 降雪時は高知自動車道や国道32号が通行止めとなることが多く、高知からの移動において、四国東南部のルートがあると利便性が高まる。
- 時間短縮によりインバウンド需要が高まり、経済効果が見込まれる。地域にとって日常生活にも直結することを伝えていくべき。
- 事業実施前にリスク分析を行っていることを評価。この取組みを継続すべき。
- 外部便益や防災機能評価など、3便益以外の効果を算出していることを評価。
- 社会的割引率について、4%が基本となっているが、2%や1%で評価することも必要。

□結論

一般国道55号 牟岐海部道路
の新規事業化については妥当である。